

日本 NGO 連携無償効果検証プログラム

実施概要 案

2007.6.8

外務省民間援助連携室
(事務局) JICS

1. 本プログラムの目的

NGO、外務省、学識者が合同で日本 NGO 連携無償資金協力案件の事業効果を検証することにより、NGO の効果検証能力及び事業実施能力の向上を図るとともに、日本 NGO 支援無償協力事業の質的向上ひいては国民（納税者）に対する外務省及び NGO のアカウンタビリティの向上に寄与することを目的とする。

2. 実施方法（効果検証の方法）

（１）海外で中規模以上（NGO 連携無償案件程度）の開発事業経験を有する NGO とともに事業効果を検証するために必要なツール（簡便な手段）を考案・検討する。

（２）その一つの案として、効果検証のための**標準シート**を作成する。また、効果を検証するための**有効な指標（ものさし）**について検討する。

（３）標準シート及び指標の有効性、簡便性を実証するために、NGO 連携無償資金協力の支援を受けた実績のある NGO および有識者、外務省員（大使館員等）からなるミッションを形成し、現地視察を行う。

（４）調査結果を踏まえ、上記２（２）の標準シート及び有効な指標が効果検証のツールとして実効性があるか確認し、標準シートについては、その実効性を更に高めるため、改良し工夫する。指標についても意見交換を行い、水供給分野及び保健分野の事業の効果を検証するための指標について具体例を提示する。

（５）以上を、報告書としてとりまとめ、上記２（１）で共に検討した NGO 等に結果を報告する。

（６）最終的には、一試案であるが、有志の NGO が自主的に効果検証を行う際に活用頂き、ご意見を頂く。

（７）なお、効果検証プログラムは来年度以降も継続的に実施していく予定であり、対象国、分野、実施する NGO の規模等の状況に左右されない、標準シートの内容、効果検証の実施の方法等について検討する。また、指標については、水供給分野、保健分野以外の事業の効果検証のための指標を検討する。

3. 現地視察対象

平成 19 年度は、困難な国情からわが国以外の諸外国の NGO の活動が難しいミャンマーにおいて、水分野、医療分野の 2 分野の以下の NGO 連携無償事業 3 件についてプロジェクトの効果検証を行う。

- （１） 案件名：ミャンマー中央乾燥地における既存井戸修繕による生活用水供給
（契約締結日2004年3月）（特活）ブリッジエーシアジャパン 9,082,752 円
 - （２） 案件名：マグウェー管区 保健施設補修プロジェクト
（契約締結日2005年8月）（財）家族計画国際協力財団（ジョイセフ） 9,996,565 円
 - （３） 案件名：ミャンマー国中央乾燥地域ニャンウー郡タユウィン山稜西部地域における浅層地下水
開発による水供給事業（2005年10月）（特活）ブリッジエーシア ジャパン 9,633,300 円
- （注）視察先の検討にあたっては、ミッションの移動の利便性も念頭においている。

4. 参加するNGO（案）

- （１）視察対象案件本部より1名ずつ計2名（BAJ, JOICEF）
- （２）フィールド（含むミャンマー）において活動実績が多いNGOより1名ずつ計2名（AMDA、
シャプラニール）

5. 留意点

効果検証の標準シートの作成にあたっては、国際的なスタンダードであり、NGOにとってもなじみがある、DAC（開発援助委員会）が定める5項目（妥当性、効率性、有効性、インパクト（効果）、自立発展性）に沿ったものとする。

6. フィードバック

効果検証で得られた結果をNGOが新規事業の形成等に生かせるよう工夫する。

7. 今後の作業スケジュール（案）

- 6月8日（金） 第1回説明会及び意見交換会
- 6月21日（木） 第2回説明会及び意見交換会（午後14時頃を予定）
- 7月6日（金） 第1回連携推進委員会における説明
- 7月9日（月）ミッション参加者に対する説明
- 7月20日（金）ミッション参加者間の打ち合わせ
- 7月25日（水）～8月2日（木） ミャンマー視察
- 8月 報告書作成、報告会

（了）